



令和4年

成人者名簿

(1段目 右より)

田中 佑弥 原

新海 ひらり 御所平

由井 千英子 御所平

井出 朱音 御所平

井出 季京 原

田代 弥生 大深山

(2段目 右より)

渡辺 満帆子 原

有坂 星風 樋沢

土屋 さらら 御所平

今井 理帆 樋沢

井出 ひより 原

新海 慧 御所平

犬飼 楓 原

渡邊 理子 原

渡邊 万葉 原

(3段目 右より)

由井 皓也 御所平

井出 裕二郎 居倉

篠原 真珠 大深山

佐原 舞 川端下

井出 怜那 御所平

井出 杏佳 御所平

井出 萌絵香 梓山

油井 風雅 御所平

(4段目 右より)

中島 悠月 大深山

井出 雄大 原

渡邊 愛渡 原

遠藤 俊介 居倉

鶴田 翔太 梓山

油井 九十九 大深山

由井 岳海 御所平

(5段目 右より)

宮原 飛雄真 川端下

油井 蒼生 梓山

油井 誠 大深山

林 雄太郎 秋山

佐野 涼斗 梓山

油井 皓輔 御所平

油井 快斗 梓山

井出 城吉 居倉

原 純夢 居倉

小原 伊織 居倉

由井 楽人 御所平

今井 悠翔 樋沢

小林 楓 梓山

新井 りえ子 秋山

吉木 ひとみ 居倉

吉澤 茉穂 樋沢

計46名



林雄太郎(秋山)

家業に就農



遠藤俊介(居倉)

専門学生
介護福祉



油井九十九(大深山)

大学生
教育学科



由井皓也(御所平)

専門学生
ホテル・テーマパーク
専攻

遠藤 そうですね。就職し
張するのは？

これからの就職する際、緊張するのは？
由井 対面授業とオンライン授業で一日おきに登校してきましたが、友達と会う時間が減って困りました。
油井 1年生の時、前期はリモート、後期は登校という形式でしたが、2年生になって基本的には学校に行けています。少し肩身は狭い気がするけれど、それなりに学園生活を過ごせていると感じています。
遠藤 介護施設など現場での実習ができなくなり、校内で学生同士で実習を行うことが多くなりました。

「コロナ禍での学校生活の状況、また、2年目と長引く中でさらに変わった状況など感じたことはありますか？」

てみて実感することが多くなるかも(笑)

「これから不安な点はないですか？」

遠藤 細やかな手順や些細な声かけなどが大事だと思いますが、そういったことは学生同士の実習では学べないので、現場で実践できなかったことを残念に思います。
林 来る予定の外国人実習生が来られなかったり、帰国できない人もいたりして大変でした。後に国内にいる外国人実習生に来てもらえましたが、人材手配に時間がかかり、4、5月は家族だけでの作業となり大変でした。
佐原 オンライン授業がメインでした。立体物のフラワーアレンジメントの授業は、画面を通して見るだけでは分かりづらく支障がありました。

「リモートだけで現物を見ることがないままですか？」

佐原 はい。コロナの影響で花屋の営業もほとんどなかったのが6月頃まで実践はできず、リモートで見た花のアレンジを文章化するだけでした。また、ブライダルやイベントなどが減った影響で花卉生産にも支障が出て、本来使用する花を仕入れできず別の花を使うこともありました。
井出 1年生の時はずべてリモートとなり、川上村に戻ってオンライン授業を受けていました。初めて夏の出荷の手伝いに出ましたが、横浜の生活では機会がなかった経験ができて印象に残りました。
2年生になり、週3日は声楽など対面授業ができるようになりました。在宅で週2日は料理をしたり身体のケアができたりと、自身を大切にできる時間を過ごせてよかったです。

「声楽などの実施は厳しかったのでは？」

井出 今は対面でマスクをしながら実施できています。自分はおペラなので、声を出すことによる感染リスクが心配です。自己管理の徹底が大変です。
渡辺 対面授業であっても講義を聞く一方的な授業が多いです。グループ学習がなくなり一人で考えて発表するばかりで、ディスカッションして他のいるような意見から学ぶ機会がなくなって残念です。
今井 入学後2カ月くらいはオンライン授業でした。その後は1年生のうちからマスク・フェイスシールド着用で直接骨や筋肉などを触る対面ができました。でも、入学後すぐの先輩との交流できる時期をコロナ禍で逃し、先輩との接点がないまま過去問題を教わることもできず、テスト対策には苦労しました。先

「コロナ禍に生きる若者たちの今」

新成人座談会

令和4年1月2日
文化センター



今井理帆(樋沢)

大学生
リハビリテーション学
科



渡辺満帆子(原)

大学生
福祉関係



井出萌絵香(梓山)

大学生
声楽科(オペラ)



佐原舞(川端下)

専門学生
園芸学科(フラワーア
レンジメントなど)

輩の経験から知識や知恵を
教わりたいのに残念です。

「日常生活の中での変
化や感じたこと、意識
したことはありますか？」

今井 1年生の時は、病院
実習に入る前2週間は出掛
けてはダメ、ばれたら実習
に行けなくなるなど、先生
からの注意喚起も厳しかつ
たので出掛けづらく食事
にも行けませんでした。今
はいぶ緩和されて、食事に
は出掛けるようになりま
した。

渡辺 大学が東京なので帰
省しづらくなりました。最
近は東京の感染者数も落ち
着いてきたので帰省できま
したが、これから変異株の
拡がりや感染者数が増える
と、PCR検査を受けたり
しないと帰りにくくなつて
しまうことが嫌です。

「今回の帰省時にはPCR
検査は受けましたか？」

渡辺 はい。陰性を確認し
て帰って来られました。

「気にするのはご自身?
家族?」

渡辺 家の人ですね。自分
も東京にいる分には大丈夫
ですが、帰省するとすると
家族に感染させたらどうし

ようと怖くなります。

「家の人はどう感じていま
すか?」

渡辺 何千人とか東京の感
染者数が多かった時は「丸
2週間、自宅待機してから
帰って来て」と言われまし
た、今は自分が気をつけて
いるのなら大丈夫かという
感じになりました。

「お互いに不安ですよ。
今回、正月に帰省するに
あたってPCR検査を受け
た人は?」

受けた 2名
受けなかった人 ワクチン
接種をしたので大丈夫だ
と思つて。

「ワクチン接種の状況はど
うですか?」

接種済 7名
川上村で5人接種

油井 川上村が学生を対象
に接種期間を設けてくれた
ので、夏休みに村で受けま
した。

井出 私は学を通して接種
しました。

井出 今回、成人式に来て
いない友達もいました。成
人式を欠席する選択ができ
たことは素晴らしいと思
いました。

村は誰が来た、来ないな
ど全て筒抜けで、都会の成
人式と比べると関係性が密

接な感じがしている中で、
各々の事情や環境、タイミ
ングはそれぞれ違うんだと
理解して「来ない」と意思
表示ができたことはこれか
らも大事だと思います。

「オペラ専攻ということ
ですが、コロナ禍でコンサ
ートや舞台イベントなどが規
制されてきたことについて
どう思いますか?」

井出 3月12日に上田市サ
ントミュージゼで高校の同期
とコンサートを行います。
卒業式で歌が歌えなくな
ったことがきっかけです。
卒業式に向けて練習を積み
重ねましたがコロナ禍で開
催できず、練習の甲斐がな
くなったことを残念に思
いました。

企画側として、客席の間
隔確保や来場者の把握方法
消毒方法など、感染対策万
全に準備する大事さを身に
染みて感じています。感染
対策など、従来以上にやる
ことも増えて負担は大きい
ですが、歌が大事な分、ま
ずは人命の安全を大切にす
るべきだと感じさせられま
した。

「素晴らしい気づきと学び
になりましたね。」

佐原 新潟での新生活で体
調を崩しがちでした。病院
で検査しても原因は見つ
からず、医師からコロナ感

染を心配され、周りからも
冷たい目で見られてしまい、
交流はまったくできませ
んでした。今年は昨年より話
せる友達が増えて、周りも
コロナに対して理解してき
た感じで「これはただの風
邪だね」とわかってくれる
ようになりました。

「人の多いところだと
ちよつとした咳やくしゃみ
とか、周りの目も気になつ
てストレスですよ。」

林 今ではマスク着用はも
ちろん、アルコール消毒液
を持ち歩くようになりまし
た。車移動が増え、車にも
マスクを常備するようにな
りました。

「マスクなしの生活はでき
ますか?」

林 周りの目があるし、高
齢の祖母がいるので感染し
ないよう、自分はマスク着
用などの感染対策には気を
つけています。

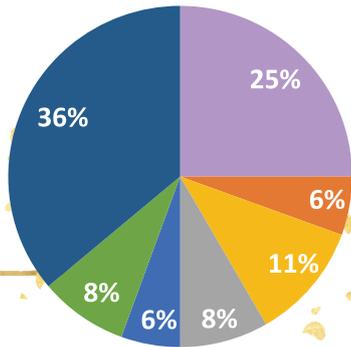
井出 自分は声と喉を守り
たいのもあって、マスクを
すると安心します。メイク
の時間も短縮できるし。

女性陣は同感

井出 素材も以前はウレタ
ン素材を使っていたけれど、
不織布に感染抑制効果があ
ると知ってからは不織布マ
スクに替えました。今では
身に付ける必須アイテムに
なり、マスクなしは考えら
れなくなりました。

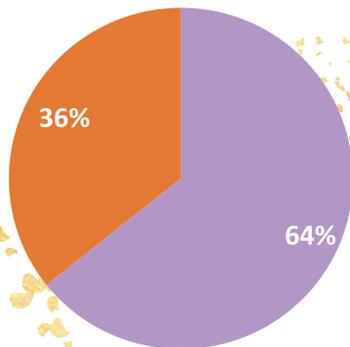
新成人アンケート

現在、関心のあることは何ですか？



- 学業
- 福祉
- その他
- スポーツ
- 異性
- 芸術
- 環境

将来、川上村に帰ってきますか？



- 帰ってくる
- 帰らない

「介護やリハビリなどの福祉関係を学んでいる人が多いですが、人に直接触れる機会が多い中、感染に対する敏感になるのでは？」

遠藤 マスクとフェイスシールドを着用し、利用者と会う前にしっかり手洗い、手指消毒を行い、感染予防対策を徹底しているのが大丈夫です。

渡辺 実習は3年生からなのでまだ行っていませんが、本来なら行く予定だった大きい病院にはコロナの影響で行けなくなり、別の小さなクリニックになったのが残念です。

今井 手洗い、手指消毒は病院の人も必須でした。また、実習に向けてワクチン接種も必須でした。これまでは病棟まで行っていた実習も、今はリハビリステーション室のみの入室で、行動範囲が決められています。

「村内のマスク事情はどう思いますか？」

林 農作業中は農薬使用時の着用品がメインで、コロナ対策での着用は少ないと思います。夏場の農作業中は暑くて、着用したくない気持ちばかりです。相手がしていないことは気にならないですが、自分は着用するように心掛けています。

「友達と食事に行く機会はあるか？」

ありますか？

あり 3名
なし 4名

今井 家に集まって食べるようにしています。お店だとまだ怖いので。

井出 若い世代が出歩いているから感染が広まったという風潮がありました。議員さんとか権力のある人が会食をしていた報道を見て、私たち若い世代のせいとされたみたいで気になりました。

「学生の皆さん、昼食はどんな感じですか？」

個室ではなく、食堂などを利用。パーティション等で感染対策はされている。

遠藤 感染対策でお昼休みが1時間から20分間に短縮されました。1時間あると友達と話してしまうので、それを防ぐためのようです。食事中は黙食で、食べたら終わり。20分ではとても食べられません。みんなお昼になったとたん、急いで買いに行っています。

「買いに行く時間も含めてですか！？」

遠藤 そうなんです。僕は面倒くさいので食べません。

「保育の現場はどうですか？」

油井 昨年夏は保育園、冬は養護施設の小学生に教育実習に行きました。そこで感じたのは、マスク越しでも子どもたちとコミュニケーションは取れるものだなと思いました。感染対策として職員は食事以外はマスク着用、3歳以下の子はマスクなしですが他の子どもはマスクをして、年齢に応じた対策をとっています。

由井 自分の学校は登校するのには検温と行動記録を提出しないといけないので、毎日の検温が習慣付ききました。

イベント関係の実習をするのに本来ならインターンとして1カ月程行くのですが、コロナ禍で1日だけホテルマンの仕事を見学する実習に変更されました。また、ホテル以外のテーマパークなどの実習予定もなくなりました。

「昨年の出来事についてお聞きします。東京オリンピック、皆さん見ましたか？」

見た 3名

今井 開会式と卓球を見ました。

油井 野球とソフトボールを見ました。あと、レスリングの後輩のお兄さんが出場して、決勝戦まで進めたので応援しました。

「見なかった人はなぜ？」

渡辺 あまり興味がなかったの。

井出 そもそも開催自体に肯定ではなかったの。開催前にいろいろ問題があつてモヤモヤしてしまいました。

佐原 テレビを持っていないので見られませんでした。そもそもいつ開催したかも曖昧です。

林 仕事が忙しくてあまり見る時間がありませんでした。ニュースで開催したのは知ったのですが、気が付いたら終わっていた印象です。

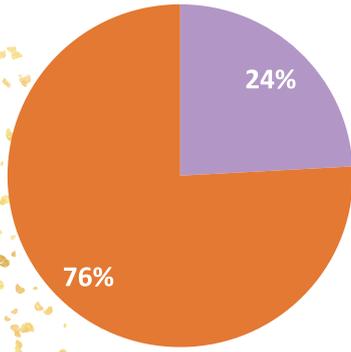
由井 自分も興味がなかったし、他に見るものがあつたので見ませんでした。接客業として話題作りが必要だとは思いますが、ニュースを見れば事足りるので。

「開催するにあたってさまざまな問題が起きてしまいましたが、その辺り、どう考えますか？」

油井 作曲家の方が辞任された件がありました。過去の記事を掘り返してそれについて不適切だとするのは問題だと思えます。他の件に関しても、日本人の悪いところが出たなと思えました。

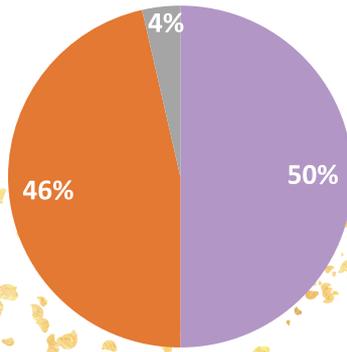
「昨年10月に衆議院議員選挙がありました。投票しましたか？」

昨年の衆議院議員選挙、投票しましたか？



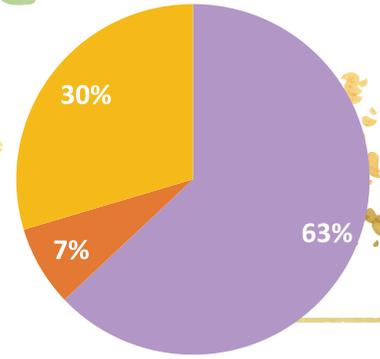
投票した
投票しなかった

1カ月の生活費は？



10万円以下
11～15万円
16～20万円

月に何冊本を読みますか？



1～5冊
6～10冊
読まない

「頼もしいですね。介護職を目指すきっかけはなんで

ですか？」
川上村 僕が住民票が川上村にあるので投票できませんでした。行く気はあったのですが、奈良から戻ったのが難しく投票できませんでした。

遠藤 介護の勉強をしているので、介護施設利用者の笑顔を多く守っていただける護士になりたいです。都会の生活は合わないので、川上村に戻って介護福祉士として働きたいです。

油井 僕が住民票が川上村にあるので投票できませんでした。行く気はあったのですが、奈良から戻ったのが難しく投票できませんでした。

「最後に皆さんの将来の夢を聞かせてください。」

佐原 デザイナー関係の仕事に就きたいです。イラストレーターか服のデザイナーをしてみたいです。今学んでいるフラワーアレンジメントを生かせればいいかなと思います。

井出 ジェンダーについての教育は、まだまだ取り入れられていないのが現状です。知らない状態では、気づかないうちに身近な人を傷つけている可能性さえあります。

投票した 1名

「川上村でもジェンダー観について遅れているのでは」との意見があり、どのよう

に取入れればいいのか思案しているようです。」
井出 ジェンダーについての教育は、まだまだ取り入れられていないのが現状です。知らない状態では、気づかないうちに身近な人を傷つけている可能性さえあります。

渡辺 コンビニと映画館が欲しいです。
油井 洗車機があるといいですね。
遠藤 イオン！
今井 カラオケ。
井出 カラーリングができる美容院が欲しいです。
渡辺 自由に集まれるフ

「先進的な仕事は都会じゃないといけないというイメージがありました。時代が変わった感じがしますね。」

「豪邸を建てるには川上村はびつたりですね。」

「夢は膨らみますね。」

2022年4月より、成人年齢が18歳に引き下げられますが、川上村では来年も20歳対象で式典を実施する予定です。

「皆さん前向きな夢を持っていて、素晴らしいですね。こんなご時世ですが、夢に向かって頑張ってください。」

「立派な親御さんですね。林君は農家を継いだのは自分の意志ですか？」

「夢は膨らみますね。」

「夢は膨らみますね。」

「夢は膨らみますね。」

「夢は膨らみますね。」

「夢は膨らみますね。」



3校合同/ 子どもたちが食と向き合い、自分の体に必要な物を知る

おべんとうデー紹介

川上第一小学校養護教諭 津金先生
川上村「おべんとうデー」取り組み

7年前に第一小に赴任してきて、その年からおべんとうデーが実施されることを知りました。

村の保健師主体で、子どもたちの健康について考える「川上保健研究会」で、食育をテーマとした勉強会があり、他でおべんとうデー実施の人の話を聞く機会がありました。その後、前年度の養護教諭と児童会でも話題となり、実施しようと決まりました。

自分でも手探りでスタートしました。まずは駒ヶ根市で実際におべんとうデーを行っている栄養士さんを頼り、実際に呼んで指導していただきました。

おべんとうデー導入において、目的や趣旨を定めようと子どもたちの実態に応じて、この川上村の環境で何が必要か考えました。農家さんが多いので、夏場の農繁期は家の方も忙しく、朝の食事は子どもたちだけで済ませたりと、夏と冬では食生活が変わります。忙しい中でお家の方が食事の準備をする苦労を知ったり、お家の人が忙しいなら、自分たちで何が必要かを考える、また、子どもたちが食事に何を足せば栄養が整うのかと考える「食を整えていく力」を目指していくのが川上として良いのではないかと考え学年に応じた内容にして、ご家庭に理解していただきながら昨年まで「カワイチおべんとうデー」を6年間行ってきました。

今回3校で行うにあたって、自分の食生活を整えて、知ることから、考えられる力を目標にしました。そしておべんとうデー通信を、栄養教諭の高橋先生へお渡し一緒に考えていただきました。通信では栄養の勉強から、調理のレシピ集、給食をお弁当箱に詰めたりなど、自分の体のためにどの程度の栄養のバランスが必要かなど再確認できました。栄養教諭が入ることで違った角度から、違う活動への発展もあると感じました。

今後3校でおべんとうデーを実施することで、食に関する意識が今より高まっていくことを期待しています。そして生涯健康に過ごす力として、食を大切にできるようにしたいと思います。

3校合同おべんとうデー実施まで 栄養教諭高橋先生へのインタビュー

(編) 今回のおべんとうデーについての経緯や進め方など、お聞かせください。

料理は家庭科の授業で1回やっただけでは、なかなか身につかないので、家でも料理をすることは良い経験になると思います。

(高) 昨年度末に今年度の食育への計画を3校の校長先生へお願いしていました。小学校の低学年から中学生までの連続した食の指導を義務教育過程で完了できればいいと思いました。統一して進めていくにあたり、保護者への丁寧な説明が必要かと思い、おべんとうデー通信を発行して保護者にお伝えできるような流れにしました。

香川県出身の竹下和男先生が提唱し、全国で展開している「弁当の日」は、買い出しから調理、片付けまで、すべて自分でやりますが、今回は全部自分で作らなくても、自分のやる範囲でバランスを考えて、できることから参加すればいいです。川上村でやっていきたいのは、これから高校進学などで、親元から離れた時、自分の好きな物だけ食べるのではなく、必要な栄養は何か、考えられることです。

(編) このおべんとうデー通信はどのくらいの定期で保護者へ渡るようにはしましたか？

(高) 現在は、手軽にお金と時間さえあれば食に困ることもないですし、これが大事なので、冷凍食品でもコンビニでもなんでもいいので、自分に必要なものを選ぶということに意識を持つことが大事だと思います。

(高) 1号を11月5日に発行して、2カ月かけて毎週発行しました。これももとは、第一小学校の養護の津金先生が丁寧に作ってくださいました。

(高) それから事前学習として給食をお弁当箱に詰めてみる活動をしました。普段何気なく食べている給食がどれくらいの量なのか、種類がどのくらいか等というのを分かってほしいなと考えました。

おべんとうデー通信(中学校)

1号 なぜお弁当作りをするのか？ 当日までの活動内容。

2号 竹下先生 オンライン食育講演会の概要。

3号 自分に必要な栄養とバランスを知る。簡単なレシピ集。

4号 給食をお弁当箱に詰める活動の様子。

5号 お弁当の計画書作成の様子。

6号 おべんとうデー当日の様子。

(編) 編集委員 (高) 高橋先生
(取材日 令和3年12月7日)

「ツキー」と言われ、食事の意識があまりにも少ないと感じました。食への意識付けを経験できる、この活動が頭の片隅にでもあればよかったです。

家庭環境などありますが、少しでも知っておけば違ったのではなにかと思いましたが。

(高) それから事前学習として給食をお弁当箱に詰めてみる活動をしました。普段何気なく食べている給食がどれくらいの量なのか、種類がどのくらいか等というのを分かってほしいなと考えました。

生徒の中には、結構小さいお弁当箱を持参した人もいました。今の年齢で必要な給食の量がお弁当箱に入るのかどうか、量を確かめるので、比べてみるのも大事だと思います。

みんなじょうずに詰めていたので、おべんとうデーで、どの程度できるかの目安にもなりました。結果、皆さんじょうずに作っていました。





① 通信で告知
趣旨や経緯など、保護者へ大切さを説明。



② お弁当計画書
主食(ごはん)、主菜(肉や魚など)、副菜(野菜など)の入ったお弁当を考える。



③ 買い出し
計画書をもとに、子どもたちがスーパーなどで買い出し。



④ 調理
自分のできることを家族の協力なども得て行う。



⑤ 弁当詰め
調理したものを適正な量とバランスで詰める。



⑥ 完成

3校合同おべんとつデーの様子

第二小学校
川上中学校

●養護教諭小林先生(第二小)

準備は年度始めから行ってきました。食への栄養や地産地消についての学習や、彩りなどを考えた献立作りをしました。高学年は調理も行いました。低学年にはまだ難しいので自身ができることをして、お弁当作りに関わることをテーマにしました。

●家庭科担当笠松先生(第二小)

1週間前から準備した子どももいましたが、2、3日前からナナーズは買い物の子どもたちでいっぱいだったとか。ミニトマトが人気ですぐに売り切れてしまったそうです。

保護者へはプリントなどで説明し、多くの皆さんにご理解いただけました。特に反対意見はありませんでしたが、子どもが多いと台所が混んで調理が大変かもと、笑いながら心配される意見が聞かれました。

●家庭科担当笠松先生(第二小)

失敗してもう一回作り直したという人もいましたが、慣れないながらも頑張る気持ちがうれしいですね。初めてのおべんとつデー、みんな楽しんでくれたようです。

教員の中にはお弁当作りの経験があまりない先生もいて、笑われないかとプレッシャーを感じていました。

失敗してもう一回作り直したという人もいましたが、慣れないながらも頑張る気持ちがうれしいですね。初めてのおべんとつデー、みんな楽しんでくれたようです。



→中学校の校長先生も人生初のお弁当作りに挑戦!

3校合同おべんとつデーの振り返りと感想

☆反省と来年度へ向けて(高橋先生)

- 1 生徒、保護者、教職員からは「大変だけれどやってよかった」という感想が多数あった。
- 2 中学校への事前アンケートでは「和える」「火を使う」といった料理ができる生徒は半数以下だったが、当日はほとんど全員が調理に関わった様子。調理技術の向上にもつながったのではないかと感じる。
- 3 ほぼ全員が主食・主菜・副菜をそろえることができていた。お弁当の中身を設定した【主食3・主菜1・副菜2】の割合に調整することは

難しい様子だったため、もっと栄養バランスについて学習時間を確保したい。

4 来年度もZoomアプリなどを活用してオンラインで学習できると、統一の内容を指導できていい。



☆生徒の感想(小学校、中学校)

- 1 硬い野菜を切るのが大変だったけれど、きれいに見えるように形を整えました。(小6)
- 2 赤・緑・黄色と彩りを考えました。買い物に行ったり、作るのを見てお手伝いを頑張りました。(小2)
- 3 いかにか簡単に作るかを考えました。毎日お弁当を作っているお母さんはすごい。(中学生)
- 4 できた時、食べた時は達成感があった。ヤツターと思った。(中学生)
- 5 初めて一から最後までお弁当を作った。切ったり茹でたり、焼いたりなどやってみると疲れた。お母さんはこれをやっているのか、すごいなと改めて感じた。(中学生)
- 6 お弁当箱に詰めたり、プロットコリーを茹でて試してみたいけれど、とても大変でした。これからお弁当を作ってもらう時には感謝を伝えていきたいです。(中学生)
- 7 3...1...2が意外と難しかったけれど、どうすれば色合いが良くなるかや、ちょうどいい量になるかを考えてきました。(中学生)

☆保護者の感想

- 1 最初から頼るのではなく、自分で作りたいという意欲がありました。先生方から意欲を引き出す働きかけがあったのだと思います。今後も、何か作ったり、食事作りに興味を持ってほしい。(中1)
- 2 なかなかおもしろい活動だと思えます。次回ももっと自分でできるよう頑張ってもらいたい。(中1)
- 3 今回、買い物から下ごしらえ、料理など、すべて自分たちでやりました。いつもは姉が料理をすることが多いのですが、こういう機会をもらって本人も料理に参加することができてよかった。(中2)
- 4 時期的には農閑期なのでいいと思います。朝寒くなり、起床時間が遅くなり、本人は当日の朝はバタバタでした。4月におべんとつデーがあつてもいいかな、と思いました。(中2)
- 5 夏場だけでなくよかったです。男の子でも案外器用にやれるんだなと思いました。(中2)
- 6 親はナナーズに連れて行っただけで、全部自分でやっていました。冷凍食品も使わず、お弁当を作るキッカケになったと思う。(中3)
- 7 最後のおべんとつデー、からあげを揚げる以外すべてを作っていました。火の使い方もじょうずに下の子に切り方を教えてくれたり、一緒に作っている姿を見てほっこりしました。今後も楽しみ。(中3)



コロナ禍でもみんなで食べて遊んで楽しみたい!

R4 かい 1/10 おらちくる会の紹介

おらちくる会とは?

子どもたちが安心して楽しめる「居場所づくり」をしたいと考える有志メンバーが集まり、今回は餅つき+おしるこ提供を企画しました。

山菜まつりや夏祭り、運動会など子どもが楽しみにしていた村のイベントが中止や縮小となつて残念なコロナ禍2年目。

おいしいものを食べて遊んで楽しめる特別な日の提供ができればと考案しました。

食材選びからレシピまでこだわり、宮崎県産餅米と北海道十勝産豆、砂糖はすべて産地直送。熟練の技で手間暇かけたおしるこ、つきたてのお餅の味は抜群でした!

村の施設である古民家の庭で餅をつき、囲炉裏を囲んだ調理作業を見ながら昔の生活の雰囲気を味わい、昔ながらの外遊びやお正月の遊び(書初め・福笑い)体験、年賀状工作などの催しも楽しめました。

企画段階では子どもの餅つき体験も予定して子どもサイズの杵も準備していましたが、感染予防対策を重視し、スタッフのみが食品加工作業を行うように直前に変更しました。古民家の中も年配の方々と子どもたちとの交流機会も企画しなかったのですが、すべて屋外で実施するように対策を徹底。文化センター内のワークショップはスペースを広く取りながら消毒を徹底し、密にならないよう来場者とも協力し合いながら安全に実施できました。広い会場でゆったりしながら、来場者は終始笑顔いっぱいの一日となりました。

イベント紹介

1 餅つき

伝統的な杵と臼でつく餅つきの様子を「初めて真近で見た!」という人もいたり、みんな興味津々で見入っていました。



2 おしるこ提供

つきたての餅を見事にちぎり分ける熟練者たち。昔からの知恵を伝承し合いながら、スタッフ一同、テキパキと和気藹々、共に楽しみながらおいしいおしるこを提供できました。



4 外遊び

最近では「ケンケンパ」と呼ばれている遊びは、昔は「あめうち」と呼んでいたそう。もう「しまとり」という遊びも行い、どちらも子どもは熱中して遊び、その様子を見ていた保護者も必死で教えて楽しんでいました。



←ケンケンパ



←しまとり

5 書き初め

お師範の丁寧なご指導により、筆の持ち方から教わる小さな子どもから大人まで、筆運びに集中でき、気持ち新たにリフレッシュさせられました。



7

スタンプで年賀状工作

年賀状らしい土台のハガキに、好きなスタンプをポン! ポン! 気持ちいながら、オリジナルの素敵なデザインに仕上げていました。



3 記念撮影

プロのカメラマンによる記念撮影や、家族揃った写真は機会がないとなかなか撮れないもの。写真かデータを送付してもらえサービスも好評でした。



6 福笑い(配布)

子どもたちには、福笑いの遊びが新鮮で、遊び方を教わりながら、家に持ち帰るのを待ちきれず会場で切って遊んで盛り上がりました。





6年男子500m

- 1位 渡邊 公雅 川上第一小
- 2位 原 大眞 川上第一小

5年男子500m

- 1位 川上春之介 川上第二小
- 7位 由井 晶 川上第一小
- 9位 由井 博久 川上第一小

5年女子500m

- 2位 伊藤 あず 川上第二小

4年男子500m

- 2位 由井 太陽 川上第一小
- 4位 高見澤来空 川上第二小
- 5位 佐原 昇 川上第二小
- 6位 山中 頼 川上第二小

3年男子500m

- 1位 原 丞理 川上第二小
- 5位 由井 龍 川上第一小
- 10位 伊藤 恩 川上第二小
- 13位 原 雅暢 川上第二小

2年男子500m

- 1位 伊藤 篤人 川上第二小
- 3位 遠藤 結心 川上第二小
- 4位 野本 樹 川上第二小
- 7位 佐原 大和 川上第二小

2年女子500m

- 4位 赤堀 想 川上第二小

1年女子500m

- 1位 由井 玲那 川上第一小
- 3位 由井 明 川上第一小

6年男子1500m

- 1位 渡邊 公雅 川上第一小
- 2位 原 大眞 川上第一小

5年男子1500m

- 2位 川上春之介 川上第二小
- 6位 由井 晶 川上第一小

4年男子1500m

- 2位 由井 太陽 川上第一小
- 4位 山中 頼 川上第二小
- 5位 佐原 昇 川上第二小
- 6位 高見澤来空 川上第二小

5年女子1000m

- 2位 伊藤 あず 川上第二小

3年男子1000m

- 1位 原 丞理 川上第二小
- 3位 由井 龍 川上第一小
- 8位 伊藤 恩 川上第二小
- 13位 原 雅暢 川上第二小

2年男子300m

- 1位 伊藤 篤人 川上第二小
- 2位 遠藤 結心 川上第二小
- 3位 野本 樹 川上第二小
- 8位 佐原 大和 川上第二小

2年女子300m

- 7位 赤堀 想 川上第二小

1年女子300m

- 1位 由井 玲那 川上第一小
- 4位 由井 明 川上第一小

男子2000m R及び女子2000m R
につきましてはリンクコンディション
不良のため中止

書き初めは、もともと宮中で行われていた儀式でしたが、江戸時代以降に庶民にも広まった習慣で、元日の朝に初めて汲んだ水（若水）を神棚に供えておき、その水で墨をすり、その年の縁起の良い方角（恵方）に向かって、めでたい詩歌を書いたことが始まりとされています。

川上村は地域柄、年の瀬に書いて、自宅やご近所、親戚、知り合いのお宅へ差し上げて、神棚近くに飾り、新年を迎える家庭が多いです。

小学校から、年末に習字を指導してほしいと依頼を受けてから6年。毎年3年生から6年生までの書き初めの指導をしています。早いもので、初めて教えた子どもたちが成人（18歳）になります。

書き初めは、おめでたいことなので、「大きく、太く、力強く、墨をたっぷり使おう」と伝えると、子どもたちは、実に素直にのびのびとした字を書きます。上達も早く、今後ますます成長する姿を思い浮かべるととてもうれしくなります。



● 新海 秀忠さん
書き方を教えてくれて、学校の廊下に飾る書き初めをじょうずに書くことができました。

● 新海 叶多さん
教え方がとても分かりやすかったし、先生の字がとても綺麗だった。はね方やほらひ方も全部分かりました。

● 井出 瑠美さん
ゆっくりちよいといスピードで教えてくれて分かりやすかったです。先生が大きく書いてくれたお手本があったので、冬休み中も書きやすかったです。

● 3年生担任 近藤 哲先生
子どもたちの目の前で実際に書いて、一人一人にお手本を用意してくださり、丁寧に教えていただきました。お陰様で、子どもたちは、はじめての「書き初め」に自信を持って取り組むことができました。

感想

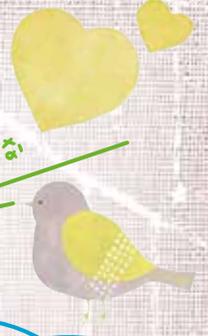
令和3年
7月~10月生まれの
赤ちゃんをご紹介

川上村の赤ちゃん

New Face

ニューフェイス

すくすく元気いっぱいな
赤ちゃんをご紹介!!



早くお兄ちゃんと遊びたいな★

居倉 第3子
伊藤 颯磨 くん
8月21日
(両親：淳気、香里)

パパ、ママから一言
いつまでも探究心のある颯爽とした人になってほしいと願い名付けました。にこにこよく笑ってくれます。



ぼくも早くトラクターに
乗りたいなあ

原 第2子
井出 真鳳 くん
7月21日
(両親：翔、純代)

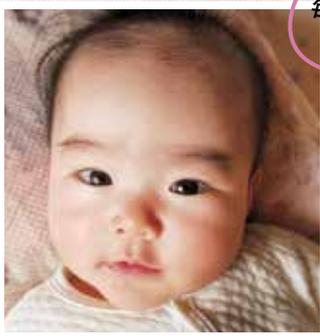
パパ、ママから一言
井出家待望の長男です☆大じいじの膝の上が好きでお姉ちゃんに比べおとなしくよく寝る子なので、パパママは大助かりです。毎日お姉ちゃんのおもちやでヒヤヒヤですが……パパに似て畑好きの働き者になってほしいと願っています!



お兄ちゃん、お姉ちゃんを
見るの大好き!

居倉 第4子
遠藤 明珠 ちゃん
9月12日
(両親：拓哉、明里)

パパ、ママから一言
自分の人生も含めて周りも明るく照らし、輝いて生きてほしいと思い名前をつけました! 兄姉がとっても可愛がってくれ、賑やかな中すくすく育っています♪



毎日お姉ちゃんのおままごに
付き合わされて大変です。

居倉 第2子
伊藤 守里叶 ちゃん
8月27日
(両親：哲男、小百合)

パパ、ママから一言
農業繁忙期に生まれまして、とても大変な出産でした。たくさんの皆さんに無事生まれてくるよう守られて生まれましたので、家族や周りの人を守る頼もしい人になってもらいたいと思っています。



お兄ちゃん お姉ちゃん たくさん
お世話してくれてありがとう♥

原 第3子
渡邊 陽日 くん
10月1日
(両親：紀久、礼)

パパ、ママから一言
お兄ちゃん、お姉ちゃんとお揃いの「陽」の字を使い、お日様のような暖かい優しい子になってほしいという願いを込めて名付けました。最近よく笑うようになり家族のアイドルです♪



ぼくはお父さんにそっくりだよ

川端下 第3子
佐原 我々宇 くん
9月29日
(両親：直彦、奈津江)

パパ、ママから一言
元気なお姉ちゃんふたりに囲まれても起きることなく、よく寝てくれます。一番小さく産まれましたが、一番大きく成長しています。

今回は普段取材する側であるK C V担当の中島樹さんに、番組作りの楽しさと苦労についての裏側を取材しました。

―担当された年からコロナ禍となり、今まで先輩方が作り上げてきたモノとは違った番組作りが求められたと思いますが、振り返ってみていかがですか？

私は令和2年4月に役場に入庁し、K C Vの部署に配属されました。村内ではその頃、行事の中止・短縮・延期などが相次ぎ、例年通りの撮影ができず苦労しました。番組表も例年と比べ、過去の再放送が多かったかと思えます。ただ、それに反してコロナによるおうち時間や行政からの情報発信のツールとして、村民の皆さんのK C Vへの関心は高まっていたと感じておりました。

そこで、例えば村のうごきでは行政関連の重要なお知らせの他、子どもの行事のニュースも必ず流すなどして視聴率を上げるよう心掛けました。また、番組にBGMやテロップの挿入など行い、番組のクオリティ向上を図りました。他にも、毎年恒例の行事をニュースで取り上げる際、初めて知る方もいますのでできる限り丁寧に説明するようにしました。

―男山トレッキングの番組、拝見しました。どのような目的で作ったのですか？

山に登らない・登れない方に向けて、村にも素晴らしい山があることを知ってほしいだったので制作しました。私がK C Vにいる間にすべての村内の山を紹介できればと考えております。私個人の趣味番組で、某番組を非常に参考にして制作していますので、温かい目でご視聴してもらえるとありがたいです……。

―子どもへのインタビューは大人にするより内容や気持ち聞き出すのが難しいと感じますが、どのように工夫していますか？

年齢で質問する内容を変えています。例えば、小さい子どもには「はい」か「いいえ」で答えられる質問に、インタビュー慣れしている子どもには質問を多く投げかけています。他にもインタビュー前に簡単な雑談を行い、子どもが発言しやすい雰囲気になっています。時には恥ずかしいという理由でインタビューから逃げる子もいます。そういう子に限っていいコメントをすることも(笑)。

―今後企画している番組は？

いろいろ考えています。シリーズもの(英語教室、保育園の一日、登山番組など)の継続やK C V開局35周年番組、あと村の歴史番組などもおもしろそうだなと……。どうぞお楽しみに。

―最後に村民の皆さんに一言

これからも村営テレビとして、村民の皆さんへの情報や興味の引く番組の発信に努めてまいります。K C Vで流してほしい映像データがありましたら、お問い合わせください。普段K C Vを観られない方も、この機会にご視聴してみてくださいいかがでしょうか。



動物バトンリレー

川上中学校 小林校長先生 (校長室)

■ チンアナゴ

気軽に校長室へ入ってもらいたい。そんな気持ちで飼い始めました。

カクレマノミ、シリキルリスズメダイ、ヤマブキスズメダイ、タコクラゲ、スカンクシュリンプ等、海の生き物を飼っています。海の生き物は、色が鮮やかなのが気に入っています。チンアナゴは、とっても臆病で、普段は少ししか顔を出しません。カメラを向けるとすぐ砂の中に入ってしまう。しかし、好物のえさをあげると、砂の中に隠れている30cmの体長を活かして、えさを食べます。とっても癒やされます。

今は、飼うことよりも、毎日世話をしにきてくれる男子生徒との世間話を楽しんでいます。



教育委員会 だより



川上村民体育館（以下、村民体育館という。）は、村民の体位向上と健康増進のために、年間を通して多くの方々にご利用いただいています。また、村内に住所がある方と事業所には、無料で使用いただけます。

使用時の注意事項として、事前に使用許可申請書を教育委員会に提出し、使用を終えた時には片付け等していただき、元通りにすることとなっています。

多くの方が後片付けをし、器具等も大切に使用していただいています。中には後片付けが徹底されていない方や、器具や壁を破損し、そのままにしている方もいるようです。

川上村では、多くの方々に気持ちよく村民体育館を使用していただきたいと思っています。使用の際は注意事項を再度ご確認くださいと思います。また、村としても片付けやすいようなレイアウト、器具等備品の管理を徹底していきたいと思っています。

皆でより使いやすい村民体育館を目指しましょう。

予約申し込み

文化センターにて申請書を提出して申し込みます。

鍵の受け取り

文化センターで鍵を受け取ります。8時30分以前、文化センター休館日は役場にて貸し出し。

体育館の使用

館内は土足禁止です。各自で上履きをご準備ください。

用具は自由に使えます。

卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ソフトバレー、スマイルボール、ターザンロープ、ポッチャ（NEW）など。

使用後の注意

使用した用具等は、所定の場所に片付けてください。

床のモップ掛けをお願いします。

空調・照明を切るのも忘れずに。

鍵の返却

施錠をして、鍵を返却（当日中）。

公民館の動き

12月25日 川上スケート大会
1月2日 成人式

11日 分館長会議

20日 館報編集委員会

公民館報編集委員募集

一緒に公民館報を作りませんか？ 興味のある方は文化センターまでお問い合わせください。

☎ 97-2600

利用者の声

- ・ 利用可能な種目が多く、道具の数も揃い充実しているの、存分に楽しめたい。
- ・ 上地区からも下地区からも集まりやすい場所にある気軽さ！ 最高！
- ・ みんなで身体を動かして、冬のストレス発散にも！
- ・ 健康的に楽しめる！
- ・ 外国人労働者も仕事の合間に利用してリフレッシュしていました。
- ・ 館内利用時のケガ等には保険も適用されて安心しました。

戸籍の窓口

十二月一日～一月三十一日受付

お誕生おめでとうございます

- | | |
|-------|----|
| 遠藤 風 | 寛 |
| 渡邊 葉也 | 光洋 |
| 鶴田 陸 | 誠 |
| 菊池 叶愛 | 真伍 |
| | 千鶴 |

結婚おめでとうございます 末永くお幸せに

- | | |
|-------|-----|
| 中嶋 俊樹 | 大深山 |
| 由井 翠 | 大深山 |
| 遠藤 竜介 | 居倉 |
| 鬼頭 琴音 | 青森県 |

お悔やみ申し上げます

- | | |
|-------|--------|
| 渡邊のりよ | 原 九一歳 |
| 中島 康 | 大深山九四歳 |
| 小原 文雄 | 居倉 六九歳 |
| 今井 巧二 | 御所平七九歳 |
| 遠藤まつし | 居倉 九八歳 |
| 林 みな子 | 川端下八六歳 |

※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

一喜一憂

「ぼたあん、どろどろ、ぴちぴち、ぷち、ぷつぷつ……」

この音、何の音か分かりますか？

「しろくまちゃんのはつとけーき」という、1972年発行の0〜3歳向けの絵本の、はつとけーきが焼けるシーンの音です。今にも焼き上がりの香りが漂ってきそうな音と絵で、子どもが大好きな絵本です。

コロナで、どこにも行けない寒中休み。子どもたちは午前中は校庭リンクへスケートに出掛けますが、いよいよ飽きてくると、おやつにホットケーキを作ります。

「自分たちで作る！」と、ケンカもしつつか騒ぎで取り掛かりますが、いよいよ焼く段階になると、冒頭の「ぼたあん、どろどろ……」の大合唱となり、絵本のしろくまちゃんよろしく、兄弟仲良く焼き上げます。

充滿する甘い香りと、おいしそうに類張るツヤツヤのほっぺ。絵本を眺めていた頃から、随分と成長したものだど幸せになります。ただひとつ、絵本の最後、しろくまちゃん、食べ終えたお皿を洗うのですが……

編集委員 K

【村勢】

総面積	209.61km ²	総人口	3,619人
		男	1,870人
世帯数	1,191戸	女	1,749人

(1月31日現在)